

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検	
事務事業名 港湾振興事業		シート番号			A 一般事務事業	
担当部署名 産業振興 局 商工労働 部 港湾事務所 課		評価責任者(課長名)			西浦	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	都心地域や各地域拠点の活性化	無
	2	事業開始年度	昭和 47 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	・船員法 ・船員法第104条第1項の規定により市町村が処理する事務に関する政令			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	・船員法、水難救護法に基づく各種事務。 ・堺港湾振興会事務・・・堺港湾振興会は、堺泉北港の振興に寄与するため民間企業・団体により昭和29年に設立された。 ・大阪府水難救済会事務・・・大阪府水難救済会は、沿岸海域の海上交通の安全確保と海上産業の発展を目的として、海上保安庁の指導により平成13年に設立された。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (港湾事務所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	・船員法に基づく船員。・堺港湾の発展に同意する民間企業、団体。(堺港湾振興会) ・常に海上で仕事をしている、漁師業、渡船業を営む方々。(大阪府水難救済会)			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	・船員法に基づく船員手帳の交付、各種届出受付事務を迅速、正確に遂行する。 ・堺泉北港の振興発展事業を実施し港湾の活性化を図ることにより堺市の産業の発展に寄与する。 ・水難の予防と水難による人命、船舶等の救済、災害発生時の救援活動行う。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・船員法に基づく各種届出、報告の受付及び船員手帳の交付事務等。 ・会員企業、団体の協力を得て研修の実施や港湾振興事業を実施、推進する。 ・海上保安庁の指導や会員の協力を得て、水難救助訓練や研修を実施する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 堺港湾振興会				

Ⅲ. 投入量

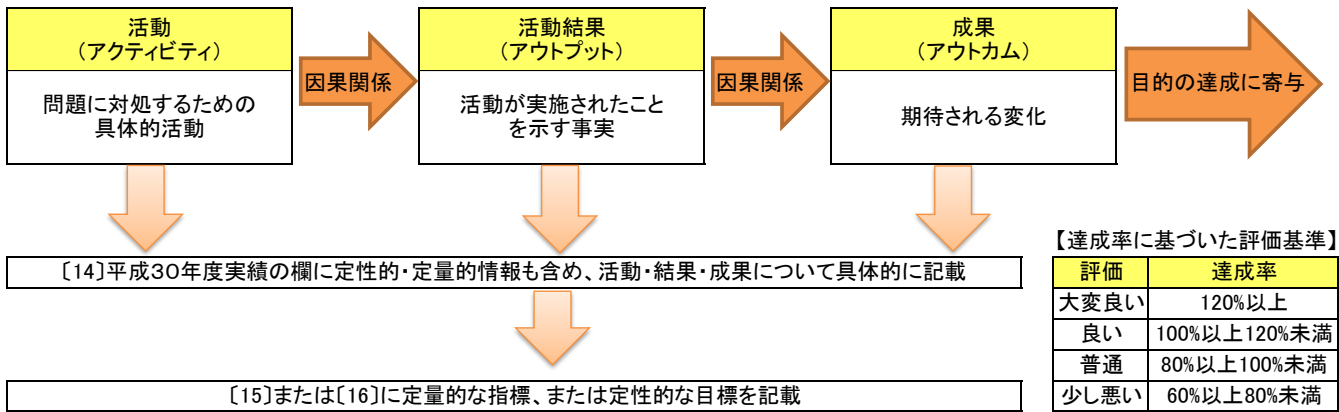
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	21,442	23,834	22,256	21,804	
	主な事業費内訳	港湾振興事業	千円	21,442	23,835	22,254	21,804
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	214	175	178	176
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	13,500	13,500	13,400	13,400	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	34,942	37,334	35,656	35,204	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	港湾振興事業	シート番号	15-14
-------	--------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>堺港湾振興会(以下「会」という。)として、市民の方に港を身近に感じていただくと共に港に親しみをもっていただくことを目的に会の事業の一つとして「堺港まつり」を毎年開催している。例年マンネリ化しているため昨年度とは少し趣向を変え実施し多くの方々に楽しんでいただけたと考えている。 船員法に係る申請・届出等の窓口業務は、経験者が少ない中で独自作成の事務処理マニュアルにより、迅速、親切、丁寧を心掛けた結果、件数の増加に繋がったものと考えている。</p>						
		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	15	堺港湾振興会「堺港まつり」入場者数	人	目標値	2,400	2,400	2,000	2,000
				実績値	1,800	1,000	1,500	
				達成率	75%	42%	75%	
				評価	少し悪い	悪い	少し悪い	
	算出方法・設定根拠など		遊覧船乗船人員、とれとれ市会場の入場者等					
	16	船員法取り扱い件数	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			件	目標値	4,000	4,500	4,500	5,000
				実績値	4,428	4,312	4,956	
				達成率	111%	96%	110%	
				評価	良い	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		年度末集計					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
<p>「堺港まつり」の入場者数が目標値を下回ったことについては、広報不足であったことが大きな要因であると思われる。また、天候にも左右されやすい。 船員法取扱い件数が1割以上増えた要因としては、入港船舶の増加及び本市窓口の利便性によるものと考えている。</p>	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。